

私たちは海とどうつながっているんだろう?!

海でも! 海に行かなくてもできる!
そのまま使える海洋学習の教材

LAB to CLASS

https://lab2c.net



第1回

海を学ぼう スクール in 相模大野

～海と日本 PROJECT～

2019年 6月23日(日) 参加費: 無料(事前予約必要)

こどもも!

先生も!
(指導者)

もっと知りたい! 海のふしぎ!



午前
の部

海の生きもの Kids ワークショップ 時間: 10:00~12:30(開場 9:30~)
対象: 小学生とその保護者 90名

選択プログラム

- A) イルカのふしぎ
- B) サンゴのふしぎ
- C) 海の生きもの

海にまつわる遊び & 学びのコーナー 時間: 12:30~13:30

※自由参加

- ・干潟・サンゴ礁の大型ジグソーパズル
- ・サンゴぬり絵コーナー
- ・海の絵本「プラスチックを探せ! 悪者は誰だ?」など多数
- ・海の生きもの写真展示

(協力) 北里大学海洋生命科学部アクアリウムラボ
"海にまつわる展示"がいっぱい! 海の生きものに詳しいスタッフが、みんなの疑問について、一緒に考えてくれるよ!

午後
の部

海×先生 ~「知る」を終わらない教育デザインとは

時間: 14:00~17:00

対象: 教育にかかわる方、今後かわりたい方 20名程度

〈海洋学習教材 LAB to CLASS〉をきっかけに「行動につなげる」「個性を活かす」教育とはどのようにデザインすれば達成できるのか、指導者の立ち位置とは…さまざまな事例をご紹介しますながら参加者とともに考えます。<ファシリテーター: 山藤旅聞氏>



会場: ユニコムプラザさがみはら (小田急線相模大野駅徒歩3分)

このイベントは、海と日本 PROJECT の一環で実施しています。
「第2回海を学ぼうスクール in 港区」2019年9月7日(土)開催

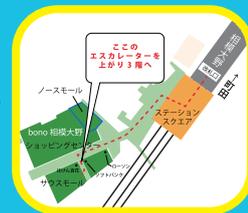


イラスト: 友永たろ



海を学ぼうスクール ～海と日本PROJECT～ とは

どこでも！楽しく！安全に！できる《海洋学習教材LAB to CLASS》を活用した、小学生＆教育関係者向けのワークショップです。子どもたちは「海の生きもの」をテーマに、教育関係者は今話題の「アクティブラーニング、探究学習」をキーワードに、「海と自分のつながり」に気づくことを目指します。

午前
の部

海の生きもの Kids ワークショップ

海の生物をテーマに、自然の多様性や食物連鎖などを、身体と頭を使ったアクティビティを通して学びます。さまざまな海の生きもの不思議を体感しながら、私たちと海をつながりを考えましょう！

ワークショップ名 (ファシリテーター)	概要
A) もっと知りたい！ イルカのふしぎ 人見道夫 (ネイチャーガイド 風の道)	「実物大のイルカ」をつくりながら、海洋哺乳類としてのイルカの体のしくみ＆生態を学びます。イルカは他の海の生きものや私たちと、どのようにつながっているのでしょうか。
B) もっと知りたい！ サンゴのふしぎ 高橋麻美 (科学コミュニケーター)	サンゴ礁の海は、たくさんの生きもののおかげで成り立っています。大きなジグソーパズルを解きながら、楽しいゲームをしながら、世界に誇れる「日本のサンゴ礁の海」の魅力と自分の生活のつながりを考えます。
C) もっと知りたい！ 海の生きもの 川端潮音 (海の世界教育 NPO bridge)	海には人間の想像が及ばないような、個性豊かな生きものがたくさんいます。多様な海の世界の紹介と、そこに適応して暮らすさまざまな生きもの不思議を、いっしょに探ってみましょう！



海にまつわる遊び & 学びのコーナー <自由参加> (協力：北里大学海洋生命科学部アクアリウムラボ)

午後
の部

海×先生 ～「知る」で終わらない教育デザインとは



ファシリテーター
山藤 旅間氏

(新渡戸文化小中学校・高等学校 生物教諭／学校デザイナー／一般社団法人Think the Earth SDGs for School アドバイザー／未来教育デザイン Confeito 共同設立者)

ブータンへの渡航を機に、「生徒自らが疑問を生み出し、解決のために行動する力」を引き出す教育デザインに取り組み始める。最近ではSDGsをキーワードに、社会課題の解決に向けて《社会と教育》をつなぎ、多様なステークホルダーとパートナーシップを組みながら多数のプロジェクトを展開している。NHK 高校講座講師、東京書籍教科書編集委員。



海洋学習教材LAB to CLASSとは

四方を海に囲まれた「島国」日本！ 地理的・経済的なハードルを越え、全国の子どもたちに海を身近に感じてもらいたい——。そんな想いのもとに全国で活動する多様なスペシャリストたちがつくる、海の学習教材です。

「海の専門知識を持たない指導者(保護者)でも使いやすい教材をつくる」ことを目指し、さまざまなテーマの体験型海洋学習教材を制作。現在30種をWEBサイトで公開しています。



どんな教材？

- ・そのまま使える教材が、無料ダウンロードOK！
- ・指導者のためのティーチャーズガイドを収録！
- ・フィールドでも室内でもできるアクティビティが多数。



WEBサイトを
ご覧ください！
<https://lab2c.net>

★ 申し込み方法

WEB サイトまたはメールでお申し込みください。

締切：6月13日(水) ※先着順。定員になり次第、締切となります。

【午前の部：(対象)小学生とその保護者】

- ★選択ワークショップ(A)イルカ (B)サンゴ(C)海の生きもの いずれか一つを選んでください。(定員：各30名 先着順)
- ★小学3年生以下のお子さんは保護者の方と一緒にご参加ください。
- ★「海にまつわる遊びのコーナー」だけの参加はできません。
- ★メールでお申し込みの際は、件名を「海を学ぼうスクール」とし、(1)参加者名(ふりがな) (2)小学校名・学年 (3)性別 (4)保護者名 (5)保護者参加の有無 (6)希望ワークショップ(第1希望、第2希望) (7)電話番号 (8)メールアドレス (9)ご住所をご記入のうえお送りください。

【2部：(対象)教育にかかわる方 20名程度】

- ★ワークショップは14時からとなりますが、午前のkidsワークショップの見学も可能です。積極的にご参加ください。
- ★メールでお申し込みの際は、件名を「海×先生」とし、(1)参加者名(ふりがな) (2)職業・所属 (3)学校教育の方のみ指導科目 (4)電話番号 (5)メールアドレス (6)ご住所 (7)kids(午前)見学の有無 (8)参加の動機(期待すること)をご記入の上お送りください。
- 【共通】
- ★申し込みメール送信後3日以上たっても「受付完了メール」が届かない場合は、再度お送りください。
- ★参加要項を、開催日1週間前にメールにてお送りします。ご確認のうえお越してください。
- ★キャンセルされる場合は、できるだけ速やかに、必ずご連絡ください。
- ★本事業は「海と日本PROJECT」サポートプログラムです。当日は取材が入ることもあります。ご了承のうえご参加ください。

【お申込み・お問合せ先】

<http://www.npo-bridge.org> または info@npo-bridge.org

LAB to CLASS プロジェクト事務局(特定非営利活動法人 海の世界教育 NPO bridge)
〒108-0073 東京都港区三田3-2-21 ローランドミュージズ203